

この報告書は、当プランの「計画の体系」に沿って、平成27年度の実施状況を報告するものです。

<計画の体系表の見方>

■目標：Ⅰ，Ⅱ・・・で表記 ■課題：1，2・・・で表記 ■施策：①，②・・・で表記

※実施状況：実施事業を記入

※評価：下記よりA～Cを選んで記入

A：男女共同参画の推進に十分な効果があった、または十分な効果が期待できる。

B：男女共同参画の推進にある程度効果があった、またはある程度効果が期待できる。

C：男女共同参画の推進にあまり効果がなかった、またはあまり効果が期待できない。

※評価の説明、今後の計画等：自由記述

I 心温まる意識づくり

1 男女共同参画の広報、教育・学習を推進する

①男女共同参画の理解を広げる広報を推進します。

平成27年度実施状況	所管課	評価	評価の説明・今後の計画等
市女性団体連絡協議会(以下「女性団体」という。)が市男女共同参画センターを運営。月1回、女性団体会員によるバザー「なぎさ市」を開催し、住民同士の交流をとおして男女共同参画への理解を深める啓発活動を行った。	地域振興課	A	市男女共同参画センターはなぎさ会館の管理運営とあわせて女性団体に運営を委託している。今後も男女共同参画を推進する拠点としての機能を果たすよう、取組を支援していく。
市男女共同参画センターや公民館、市庁舎にパンフレットやチラシを配置し、男女共同参画への理解促進を図った。	地域振興課	B	継続して、広報・啓発に努める。
市報「みんなで拓く人権文化」欄で、男女共同参画について広く市民に周知・啓発を行った。 ・「男女共同参画週間」(6月号)、「妊産婦にやさしい環境づくりを」(8月号)、「ワーク・ライフ・バランス」(10月号)、「女性に対する暴力をなくす運動」(11月号)「“LGBT”性的指向と性同一性障がい」(1月号)、「障がいのある人と障がいのない人が共生する社会へ」(2月号)	地域振興課	A	男女共同参画社会実現の必要性やマタハラ、DVやセクハラ等女性に対する暴力、LGBT(性的指向と性同一性障がい)、障害者差別解消法をテーマに取り上げ、市民に対し周知・啓発を行った。
第2次境港市男女共同参画推進計画概要版パンフレットを講演会や研修会、講座等で説明、配布することで、男女共同参画について広く市民に周知・啓発を行った。	地域振興課	A	パンフレットは機会を捉えて、内容を説明したうえで配布するように努めた。

②男女共同参画を推進する学習・教育機会を充実します。

平成27年度実施状況	所管課	評価	評価の説明・今後の計画等
事業所の研修会において、高齢者や障がいのある人、外国人の人権に触れる内容を取り上げ、実施した。 ・建設業協議会 人権研修会（9月）29人 「人と人とのつながり」～人の振り返り 我が振り返り～	地域振興課	B	今後、事業所の研修会においては、女性活躍推進の観点から、行動計画策定に関する周知や情報提供をあわせて行っていく。
人権教育推進協議会の研修会において、男女共同参画の啓発を行った。 ・社会教育部会 社会教育講座 境公民館(12月) 16人 「子どもはね、みんなで育てるものなんだよ」～人と人の新しい関係が支えるこれからの「子育て」と「子育て」～ 講師 星川 淑子氏（鳥取大学教授） ・社会教育部会 社会教育講座 渡公民館(1月) 12人 「多様性を認める社会へ」	地域振興課	A	家庭や地域における子育てや男女共同参画に関する内容の講座を実施し、参加者には好評であった。
人権学習地区巡回講座のテーマを「気持ち楽になる人付き合いの方法」と題して各地域で実施したなかで、男女共同参画に関する啓発を行った。 ■場 所 公民館・会館・集会所 23カ所(ふれあいの家での実施も含む) ■参加者177人 ■平成27年度は4地区(外江、境、上道、余子)で実施。	地域振興課	A	参加者に第2次計画パンフレットを配布し、計画について周知した。また講座は高齢者や障がいのある人、外国人の人権にも触れる内容であった。
男女共同参画の視点に立ち、ともに理解・協力しあえる地域社会づくりへの取組として、女性団体が講演会を開催した。 ■開催日 H27.6.28(日) ■場 所 市民会館 大会議室 ■講 師 浜田 妙子氏（鳥取県議会議員） ■演 題 「女性が輝く社会」って・・・～生き、生き、いきる～ ■参加者 85人	地域振興課	A	男女共同参画週間中に女性団体連絡協議会の会員をはじめ、市民を対象に講演会を開催し、身近なテーマから男女共同参画について理解を深める良い機会となった。
女性団体会員が「人権尊重社会を実現する鳥取県研究集会」(8月、於鳥取市)や公開講座に参加し、他団体との交流を図るとともに、男女共同参画推進への理解を深めた。	地域振興課	A	今後も女性団体会員が男女共同参画推進について理解を深め、活動を広げていくよう支援を行う。
市男女共同参画センターへ研修会等の情報提供を行った。	地域振興課	B	今後も継続する。
地域の活性化、女性も高齢者も活躍できる男女共同参画社会に関する講演会を開催した。 ■開催日 H27.11.21(土) ■場 所 文化ホール ■講 師 藻谷 浩介氏（㈱日本総合研究所主席研究員） ■演 題 「これからのまちづくりと男女共同参画」 ■参加者 136人	地域振興課	A	アンケートでは、講演会の満足度は高く、今後もこのような講演会を行うべきとの意見が非常に多いという結果であった。今後も国・県の動向や地域の課題を把握したうえで、講演会や講座を開催したい。

③性に関する健康と権利の理解を深めます。

平成27年度実施状況	所管課	評価	評価の説明・今後の計画等
特定の年齢の女性を対象とした女性特有のがん検診推進事業(無料クーポン券による検診)で、クーポン券送付時に女性の健康に関する小冊子を同封し、検診受診の必要性を啓発した。	健康推進課	B	平成27年度は乳がん・子宮がんの受診率が向上し、県平均の受診率を上まわった。
妊産婦健診及び健康相談を実施した。	健康推進課	B	継続実施している。
学習指導要領に則り、小・中学校において性教育を推進した。	学校教育課	B	各校の年間指導計画に従って実施した。

2 あらゆる暴力を許さない意識づくりを推進する

④DV(ドメスティック・バイオレンス)の防止啓発と被害者の支援体制を整備します。

平成27年度実施状況	所管課	評価	評価の説明・今後の計画等
県と共催で性暴力被害者支援講演会を開催した。人権擁護委員、民生児童委員など相談業務に携わっている方も多数参加され、性暴力被害の実態や支援、支援者のセルフケアなどについて話を聴くことができた。 ■開催日 H28.1.23(土) ■場 所 保健相談センター ■講 師 性暴力救援センター・大阪SACHICO 谷田寿美江さん ■参加者 31人	地域振興課	A	今後も関係機関と連携し、取組を進めていく。
DV相談窓口周知用カードを本庁舎、保健相談センター、市男女共同参画センターに配置した。	地域振興課	B	今後も継続する。
女性の人権ホットラインについて、市報への掲載、市男女共同参画センターや公民館、市庁舎へのポスター掲示で周知を図った。	地域振興課	B	今後も継続する。
県男女共同参画センターの実施する男性相談について、周知を図った。	地域振興課	B	今後も継続する。
DV関連チラシを市保健相談センターに配置した。	子育て支援課	B	チラシ等配置し、啓発に努めた。今後も継続して取り組む。
関係機関と連携して、DV被害者の相談体制を整備した。	子育て支援課	A	婦人相談員を配置し、相談支援を行った。今後も婦人相談員による相談支援を継続実施する。
関係機関と連携して、DV被害者を保護する体制を整備した。	子育て支援課	B	直接保護はできないため、必要時に保護できるよう関係機関との連携に努めた。
「女性に対する暴力をなくす運動」街頭キャンペーン活動に参加した(11月)。	子育て支援課	A	鳥取県主催の啓発街頭キャンペーンに参加した。
婦人相談員の資質向上のため、各種研修会に参加した。	子育て支援課	A	婦人相談員協議会連絡会等に参加。研修参加および動向等把握に努めた。
学校生活のあらゆる場面を通して、暴力は人権を侵害するものであることを指導した。	学校教育課	B	人権教育等の中で指導を行った。

⑤セクシュアル・ハラスメントの防止対策を実施します。

平成27年度実施状況	所管課	評価	評価の説明・今後の計画等
市報やホームページで、特設人権相談所(毎月1回、於市老人福祉センター)の開設日時や女性の人権ホットライン等、相談窓口の周知を図った。	地域振興課	A	今後も継続する。

II 活力あるまちづくり

3 地域の様々な分野における男女共同参画を推進する

⑥地域活動への男女共同参画を促進します。

平成27年度実施状況	所管課	評価	評価の説明・今後の計画等
地域活動や各種団体への参加支援の拠点である市民活動センターの運営を支援した。	地域振興課	B	今後も継続する。
市民活動センターにおいて地域活動・ボランティア活動の情報を提供した。	地域振興課	B	今後も継続する。
自治会への加入促進と活動費を助成した。 男女共同参画講演会に自治連合会が共催した。	自治防災課	B	自治連合会の活動方針のひとつに「人権意識の高揚」を挙げ、人権や男女共同参画の研修への参加を促している。
公民館運営審議会委員を委嘱し、公民館活動を推進した。	生涯学習課	B	女性委員は全体の約3割を占めている。地域の拠点たる公民館であることから、さらに登用率をあげたい。また、地域によっては女性委員が少ないところもあり、登用をしたい。
児童への「読み聞かせ」ボランティアに男性が増えた。	生涯学習課	B	市内に数名だが、男性が読み聞かせに参加している。児童にとって新鮮であり、参加者を増やしたい。
「地域公民館総合文化祭補助金」や「地区体育・スポーツ振興事業費」により、公民館まつり、地区運動会等の開催を支援した。	生涯学習課	A	幅広い年齢の多くの男女が、文化やスポーツを通じた地域活動に積極的に取組み、地域交流の輪が広がった。

⑦防災・復興分野における男女共同参画を促進します。

平成27年度実施状況	所管課	評価	評価の説明・今後の計画等
地域防災計画において防災・復興分野における男女共同参画の促進を検討している。	自治防災課	B	市防災会議の委員に女性委員(2人)を登用した。

4 市政への男女共同参画を推進する

⑧政策・方針決定過程への女性の参画を促進します。

平成27年度実施状況	所管課	評価	評価の説明・今後の計画等
各種審議会委員に女性委員の登用を啓発した。	地域振興課	B	職員研修において、審議会等委員を委嘱する場合は積極的に女性の登用を推進するよう依頼した。
女性団体が「市長と語る会」を開催し、市政全般にわたり質問や要望を出し、意見交換を行った。	地域振興課	A	協働のまちづくりの推進に向け有意義な会だったと、参加者からは好評であった。

⑨行政機関の男女共同参画を推進します。

平成27年度実施状況	所管課	評価	評価の説明・今後の計画等
市職員人権研修において男女共同参画をテーマに取り上げて実施した。 ■講師 大田 雅子氏（県男女共同参画センター） ■演題 「知っとこ男女共同参画～女性も男性も幸福に～」 ■参加者 188人	地域振興課	A	研修後のアンケートでは「新しい気付きがあった」、「実践しようと思うことがあった」と回答した人がそれぞれ約7割あり、男女共同参画に関する職員の意識の高揚が図られたと考えられる。
女性職員の登用方針を定め、周知している。	総務課	B	平成27年度中に女性の職業生活における活躍の推進に関する法律に基づく「特定事業主行動計画」を策定した。

III 働きやすい環境づくり

5 就労の場における男女共同参画を推進する

⑩男女平等の就労環境づくりを促進します。

平成27年度実施状況	所管課	評価	評価の説明・今後の計画等
市報「みんなで拓く人権文化」欄で、職場における男女共同参画について広報・啓発を行った。	地域振興課	B	男女がともに働きやすい就労環境の実現に向け、引き続き市報等を活用し、広報・啓発を行う。
女性農業者人財バンクにおいて、資質の向上を目指して視察や勉強会を毎月1回程度実施した(H16～)。また、伯耆町女性農業者ネットワークとともに実行委員会を組織し「女性農業者の集い」を開催、他市町の女性農業者の事例発表や体験学習、意見交換を実施した。	商工農政課	A	女性農業者の自主的な取り組みであり、今後も他市町の女性農業者との交流を推進し、活動を継続する。

⑪働きたい女性の就労を支援します。

平成27年度実施状況	所管課	評価	評価の説明・今後の計画等
「妊娠・出産等を理由とする不利益取り扱い」の禁止や女性活躍推進法に関するチラシを本庁舎、保健相談センター等に設置した。	地域振興課	B	今後も関係機関と連携し、広報・啓発に努める。
保護者が求職中であっても保育園で子どもの受入れを行っている。	子育て支援課	B	子どもを園に預けることで求職活動に専念でき、就職が決まった保護者も多いが、年度中途になると未満児の定員に空きがなくなるため、入所の承諾ができないケースが多くなる。
延長・休日・病児保育など保育サービスの充実を図った。	子育て支援課	A	保護者が安心して仕事に出かけることができる。今後もサービスの充実に努めたい。
保育料を見直し、負担を軽減した(H19～、H25～)。平成27年9月からは第三子以降の保育料を無償とし、さらなる負担軽減を図っている。	子育て支援課	A	経済的な不安が軽減することで、子どもを預けて働きに出やすくなる。今後も国県と強調して、保護者の負担軽減に努めたい。
市内7小学校区に放課後児童クラブを設置し、保護者が安心して働けるよう子どもの居場所を確保した。	学校教育課	A	市内7校区で放課後児童クラブを実施した。1校区については、4～6年生の実施を開始した。

⑫水産業・農業・商工業などの自営業における女性の参画を推進します。

平成27年度実施状況	所管課	評価	評価の説明・今後の計画等
農家の家族経営協定について啓発を行い、締結を促進した。(H16～)	商工農政課	C	平成27年度は締結がなかった。農業経営における女性の役割を明確にし、共同経営者として積極的に経営に関わる機会を促す方法として有効な手段なので、引き続き農家に締結を勧めていく。

6 仕事と生活の調和(ワーク・ライフ・バランス)を推進する

⑬仕事と生活の調和(ワーク・ライフ・バランス)について理解促進を図ります。

平成27年度実施状況	所管課	評価	評価の説明・今後の計画等
市報「みんなで拓く人権文化」欄で、ワーク・ライフ・バランスについて広報・啓発を行った。	地域振興課	B	今後も機会を捉えて広報・啓発を行う。
「境港市総合戦略」策定に際し、「ワーク・ライフ・バランス」についての内容を盛り込んだ。	地域振興課	A	平成28年度は事業所等を対象に、ワーク・ライフ・バランスに関する講座を開催する。

⑭仕事と家庭生活等が両立できる環境づくりを推進します。

平成27年度実施状況	所管課	評価	評価の説明・今後の計画等
「妊娠・出産等を理由とする不利益取り扱い」の禁止や女性活躍推進法に関するチラシを本庁舎、保健相談センター等に設置した。	地域振興課	B	今後も関係機関と連携し、広報・啓発に努める。
保護者が求職中であっても保育園で子どもの受入れを行っている。	子育て支援課	B	子どもを園に預けることで求職活動に専念でき、就職が決まった保護者も多いが、年度中途になると未満児の定員に空きがなくなるため、入所承諾できないケースが多くなる。
延長・休日・病児保育など、保育サービスの充実を図った。	子育て支援課	A	保護者が安心して仕事に出かけることができる。今後もサービスの充実に努めたい。
保育料を見直し、負担を軽減した(H19～、H25～)。27年9月からは第三子以降の保育料を無償とし、さらなる負担軽減を図っている。	子育て支援課	A	経済的な不安が軽減することで、子どもを預けて働きに出やすくなる。今後も国県と強調して、保護者の負担軽減に努めたい。
ひとり親家庭、住民税非課税世帯への利用料半額助成の継続などファミリー・サポート・センター事業の充実を図った。	子育て支援課	B	ファミリーサポート・センター事業利用者の負担軽減が図れた。
育児・介護休業の制度周知のためのチラシ、パンフレットを窓口に配置した。	商工農政課	B	今後も関係機関と連携して周知していく。
市内7小学校区に放課後児童クラブを設置し、保護者が安心して働けるよう子どもの居場所を確保した。	学校教育課	A	市内7校区で放課後児童クラブを実施した。1校区については、4～6年生の実施を開始した。

IV 笑顔のある暮らしづくり

7 暮らしの中の男女共同参画を推進する

⑮男性にとっての男女共同参画の理解を促進します。

平成27年度実施状況	所管課	評価	評価の説明・今後の計画等
県男女共同参画センター等が開催する講座に関するチラシを配置した。	地域振興課	B	今後も継続する。
地域の活性化、女性も高齢者も活躍できる男女共同参画社会に関する講演会を開催した。 ■開催日 H27.11.21(土) ■場所 文化ホール ■講師 藻谷 浩介氏 (株)日本総合研究所主席研究員) ■演題 「これからのまちづくりと男女共同参画」 ■参加者 136人 ■主催 境港市、境港市自治連合会、境港市女性団体連絡協議会、境港市人権教育推進協議会	地域振興課	A	参加者の6割が男性であり、男性への男女共同参画の理解促進の場になったと考える。

⑩家庭生活への男性の参画を促進します。

平成27年度実施状況	所管課	評価	評価の説明・今後の計画等
県男女共同参画センター等が開催する講座に関するチラシを配置した。	地域振興課	B	今後も継続する。
男性・女性が共に協力して介護を行うよう、家族介護教室において知識の啓発を行った。	長寿社会課	A	男性の参加者も増えてきた。平成28年度も継続実施する。
公民館講座で「男の料理教室」を実施した。	生涯学習課	A	料理に興味を持つこと、妻に感謝の気持ちが生まれたこと等、新たな発見が多かった。

⑪子どもの男女共同参画の理解を促進します。

平成27年度実施状況	所管課	評価	評価の説明・今後の計画等
幼稚園や保育所において、園児や保護者に対し、助産師が命の大切さについて講話を行なった。	健康推進課	B	平成27年度は10月と11月に実施し、93名の参加があった。
学校生活全般にわたり、ジェンダーにとらわれない考え方について指導した。	学校教育課	B	人権教育等、学校の生活全般にわたって実施した。
保育所、幼稚園における中学生の保育体験を実施した。	学校教育課	B	職場体験・家庭科などの中で実施したが、全員対象ではなかった。
小・中学校における技術・家庭科教育の充実を図った。	学校教育課	A	年間指導計画に沿って実施した。
小・中学校において男女混合名簿を使用した。	学校教育課	A	全校で実施した。
いじめを許さない態度や命の大切さ、友達を思いやる心を育む教育を実践した。	学校教育課	A	学級活動等、学校生活全般で実施した。
一人一人の自己肯定感を高めるとともに、子ども相互の信頼関係や尊敬の心を育むよう指導を行った。	学校教育課	A	学級活動等、学校生活全般で実施した。
地域社会の中にある慣習や慣行について学習した。	学校教育課	B	中学校では職場体験、小学校では総合的な学習の時間や公民館活動等で学習した。

8 自立と協働をはぐくみ、誰もが安心して暮らせる環境づくりを進める

⑱高齢者が安心して暮らせる環境づくりを進めます。

平成27年度実施状況	所管課	評価	評価の説明・今後の計画等
高齢者の人権に関する講演会を開催した。(主催:市人権教育推進協議会) ■開催日 H28.3.22(火) ■場 所 保健相談センター ■講 師 山田 晋氏 (鳥取県図書館協会会長) ■演 題 「亀の甲より年の功～高齢者を人権で考える～」 ■参加者 43人	地域振興課	A	高齢者の尊厳について話を聴くことができ、参加者にも好評であった。
境港市ことぶきクラブ連合会、地区単位老人クラブに対し、活動費を助成した。	長寿社会課	A	活動内容が豊富になり、会員加入促進に繋がった。
高齢者サークルに介護予防事業を委託した。(新規サークルの立ち上げを支援)	長寿社会課	B	仲間づくりのきっかけとなる。
認知症予防自主サークルの活動に対し、助言等支援を行った。	長寿社会課	A	活動内容が豊富になることによって弾みがつき、サークル活動が活発になった。
居宅介護を行う家族に対して、おむつ代を助成した。	長寿社会課	B	今後も継続する。
小規模多機能型居宅介護事業所を整備し、「通所」「訪問」「泊まり」のサービスを総合的に比較的安価に提供した。(H22.8～)	長寿社会課	B	平成30年4月までに、さらに1ヶ所整備、開所する。
地域で高齢者を見守る体制づくり等の取り組みを支援する。	長寿社会課	B	自治会を中心に地域の互助・共助の体制ができつつある。今後も継続し、全地区に普及を目指す。

⑲障がいのある人が安心して暮らせる環境づくりを進めます。

平成27年度実施状況	所管課	評価	評価の説明・今後の計画等
市報「みんなで拓く人権文化」欄で、「障がいを理由とする差別の解消の推進に関する法律」の施行に関して広報・啓発を行った。	地域振興課	B	今後も機会を捉えて広報・啓発を行う。
市福祉課内に『障害者虐待防止センター』を設置し、関係機関と連携して、障がい者虐待の相談体制を整備した。	福祉課	B	相談体制を整備し、関係機関と連携して対応した。
障がい者からの相談に応じ、指導や情報提供を行う相談員を設置した。	福祉課	B	相談員を配置し、相談支援を行った。

②DVやジェンダーに関する悩みの相談、救済・支援体制づくりを進めます。

平成27年度実施状況	所管課	評価	評価の説明・今後の計画等
家庭児童相談室でDV相談に対応した。	子育て支援課	A	課内及び関係機関と連携し対応した。
関係機関と連携しDV被害者支援への体制を整備した。	子育て支援課	A	婦人相談員を配置。相談等支援を行った。
婦人相談員の資質向上のため、各種研修会に参加した。	子育て支援課	A	婦人相談員協議会連絡会に参加。研修および動向等把握に努めた。

計画の推進

9 推進体制の整備

②市民組織・団体

平成27年度実施状況	所管課	評価	評価の説明・今後の計画等
男女共同参画推進審議会を開催し、計画の実施状況等について審議した。	地域振興課	A	今後も継続し、審議会での意見等を検討のうえ、取組に反映させていく。
女性団体の活動費を助成するとともに活動を支援した。	地域振興課	A	女性団体連絡協議会は、加盟女性団体が連携して男女共同参画を推進するための活動を行っている。

②市役所庁内組織

平成27年度実施状況	所管課	評価	評価の説明・今後の計画等
人権施策推進会議(会長:境港市長)において計画の実施状況を審議した。	地域振興課	B	同会議の所掌項目に「男女共同参画推進計画に基づく施策の推進」が掲げられている。

③男女共同参画を推進していくための拠点

平成27年度実施状況	所管課	評価	評価の説明・今後の計画等
市男女共同参画センターにインターネット環境を整備し、男女共同参画に関する情報の収集や、他団体との連携を促進した。(H23～)	地域振興課	B	男女共同参画社会を推進していくための拠点として機能を果たすよう、今後も支援を継続する。
女性団体になぎさ会館としおさい会館の管理運営業務を委託した。	生涯学習課	A	活動の拠点としつつ、市民の利用調整、会館清掃など、適切に運営されている。

④連携・協働

平成27年度実施状況	所管課	評価	評価の説明、今後の計画等
市男女共同参画センターの運営を女性団体に委託。市男女共同参画推進審議会委員に県男女共同参画センター(よりん彩)所長を委嘱する等、連携を図った。	地域振興課	A	今後も連携・協働し、男女共同参画の推進に向けた取り組みを行っていく。

10 計画の進行管理

⑤計画の進捗状況の把握

平成27年度実施状況	所管課	評価	評価の説明、今後の計画等
平成26年度の各課の実施状況報告をとりまとめ、市ホームページで公表、また、男女共同参画推進審議会において審議した。	地域振興課	A	今後も施策・事業の見直しを行っていく。

⑥市民意識の把握

平27年度実施状況	所管課	評価	評価の説明、今後の計画等
実施なし	地域振興課	—	県の意識調査等を参考に、平成29年度に市民意識調査を実施し、計画に反映させる。

平成27年度 実施事業数 86

評価別 A 42(49%) B 43(50%) C 1(1%)

(参考)

平成26年度 実施事業数 81

評価別 A 34(42%) B 46(57%) C 1(1%)